



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

東

上場会社名 株式会社アジアゲートホールディングス 上場取引所
 コード番号 1783 URL <http://www.asiagateholdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮
 問合せ先責任者 (役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5572-7848

四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	957	38.5	11	—	0	—	△3	—
27年9月期第1四半期	691	△11.9	△57	—	△110	—	△111	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 △19百万円(—%) 27年9月期第1四半期 △91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	△0.09	—
27年9月期第1四半期	△2.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	7,649	6,410	6,410	6,410	83.3
27年9月期	7,560	6,430	6,430	6,430	84.6

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 6,373百万円 27年9月期 6,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	—	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,151	51.1	△97	—	△97	—	△100	—	△2.37
通期	4,558	64.5	60	—	48	—	40	—	0.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期1Q	42,442,851株	27年9月期	42,442,851株
28年9月期1Q	130株	27年9月期	130株
28年9月期1Q	42,442,721株	27年9月期1Q	40,963,953株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成27年12月31日)におけるわが国の経済状況は、原油安や不安定な中東情勢を背景に株価も乱高下を繰り返すなど先行きの見えない展開でありながら、当社の足元では東京五輪開催に伴い、公共事業を始めとした建設業界の堅調な状況、外国人観光客の大幅な増加を背景にした観光業界の盛況など明るい材料も見られます。

このような状況の下、当社グループは、ゴルフ・リゾート事業が天候にも恵まれ順調に売上を伸ばし、リアルエステート事業は本格的に稼働し好調な成績をあげ、建設事業も堅調に受注を獲得したこともあり、売上高は前年同四半期と比較して2億66百万円増加し、営業利益は前年同四半期と比較して68百万円増加いたしました。

経常損益に関しましては、当第1四半期連結累計期間に、関係会社(株式会社東京衡機)の平成28年2月期第3四半期決算の内容を受け、持分法による投資損失16百万円が発生いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9億57百万円(前年同四半期売上高6億91百万円)、営業利益11百万円(前年同四半期営業損失57百万円)、経常利益0百万円(前年同四半期経常損失1億10百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失1億11百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、暖冬の影響もあり売上高は増加し、この結果、売上高3億39百万円(前年同四半期売上高3億13百万円)、営業損失12百万円(前年同四半期営業損失14百万円)となりました。

② ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、ほぼ予定通りに推移し、売上高1百万円(前年同四半期売上高1百万円)、営業利益2百万円(前年同四半期営業利益2百万円)となりました。

③ 建設事業

建設事業におきましては、好調な景況を反映して売上高、営業利益ともに増加しております。この結果、売上高3億80百万円(前年同四半期売上高3億60百万円)、営業利益11百万円(前年同四半期営業利益1百万円)となりました。

④ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、当期において本格的な新規取引を開始し、売上高2億21百万円(前年同四半期売上高0百万円)、営業利益8百万円(前年同四半期営業損失47百万円)となりました。

⑤ その他

上記に属さない事業(主に通信関連取引)は売上高15百万円(前年同四半期売上高17百万円)、営業利益0百万円(前年同四半期営業利益0百万円)を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、76億49百万円となりました。

流動資産は1億27百万円増加し43億83百万円、固定資産は38百万円減少し32億66百万円となりました。流動資産増加の主な内訳は、現金及び預金が1億11百万円増加したことによります。

固定資産の減少の内訳は、投資その他の資産の減少37百万円であります。投資その他の資産の減少の主な要因は、関係会社株式の減少21百万円と長期貸付金の減少16百万円などです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億8百万円増加し、12億38百万円となりました。負債増加の主な要因は、支払手形・工事未払金等が89百万円増加したことによります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、64億10百万円となりました。純資産減少の主な要因は、為替換算調整勘定が14百万円減少したことと、純損失により利益剰余金が3百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期第2四半期連結累計期間及び平成28年9月期連結通期の業績予想につきましては、平成27年11月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,907	1,860,839
受取手形・完成工事未収入金等	304,329	347,380
リース投資資産(純額)	30,795	26,898
商品	76,070	60,074
原材料及び貯蔵品	13,017	11,037
販売用不動産	1,928,210	1,934,732
未収入金	14,283	13,771
その他	147,793	132,369
貸倒引当金	△7,660	△3,855
流動資産合計	4,255,747	4,383,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	446,867	446,342
機械装置及び運搬具(純額)	30,952	28,913
工具、器具及び備品(純額)	7,395	6,809
土地	1,755,915	1,755,915
有形固定資産合計	2,241,131	2,237,981
無形固定資産		
その他	6,353	7,711
無形固定資産合計	6,353	7,711
投資その他の資産		
投資有価証券	31,969	31,095
関係会社株式	654,650	632,922
長期貸付金	386,725	370,225
長期未収入金	63,456	64,742
その他	63,249	63,214
貸倒引当金	△142,354	△141,584
投資その他の資産合計	1,057,697	1,020,616
固定資産合計	3,305,182	3,266,308
資産合計	7,560,929	7,649,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	259,701	348,820
短期借入金	1,942	1,890
未払法人税等	11,552	11,028
未払消費税等	27,082	21,733
繰延税金負債	123,274	123,274
賞与引当金	5,767	9,803
ポイント引当金	21,148	20,704
その他	200,969	220,908
流動負債合計	651,439	758,163
固定負債		
繰延税金負債	4,829	4,771
役員退職慰労引当金	26,097	28,435
退職給付に係る負債	139,105	139,133
資産除去債務	16,244	16,303
その他	293,133	292,078
固定負債合計	479,410	480,721
負債合計	1,130,849	1,238,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	4,107,779	4,107,779
利益剰余金	△1,293,641	△1,297,374
自己株式	△37	△37
株主資本合計	6,314,101	6,310,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△908
土地再評価差額金	6,324	6,324
為替換算調整勘定	72,968	58,169
その他の包括利益累計額合計	79,258	63,584
新株予約権	36,720	36,720
純資産合計	6,430,079	6,410,672
負債純資産合計	7,560,929	7,649,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	691,671	957,908
売上原価	389,229	601,514
売上総利益	302,442	356,393
販売費及び一般管理費	359,696	345,326
営業利益又は営業損失(△)	△57,254	11,067
営業外収益		
受取利息	4,677	1,014
受取給付金	1,768	1,654
貸倒引当金戻入額	—	1,522
その他	6,254	2,243
営業外収益合計	12,699	6,435
営業外費用		
支払利息	189	263
持分法による投資損失	59,917	16,928
資金調達費用	5,354	—
その他	354	16
営業外費用合計	65,815	17,208
経常利益又は経常損失(△)	△110,370	294
特別利益		
固定資産売却益	—	2,475
その他	—	4
特別利益合計	—	2,479
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△110,370	2,773
法人税等	1,054	6,507
四半期純損失(△)	△111,424	△3,733
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,424	△3,733

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△111,424	△3,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△874
持分法適用会社に対する持分相当額	19,678	△14,799
その他の包括利益合計	19,678	△15,673
四半期包括利益	△91,746	△19,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,746	△19,406
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

当社は、第1四半期連結会計期間において、第三者割当による新株予約権の発行及び自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金(自己株式処分差損)が469,999千円、自己株式が604,046千円減少し、新株予約権が36,720千円増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は4,107,779千円、自己株式は△36千円、新株予約権は36,720千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	313,243	555	360,092	420	17,360	691,671	—	691,671
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,075	—	—	—	1,075	△1,075	—
計	313,243	1,630	360,092	420	17,360	692,746	△1,075	691,671
セグメント利益又は損失 (△)	△14,879	2,970	1,278	△47,214	360	△57,484	229	△57,254

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	339,097	293	380,710	221,908	15,900	957,908	—	957,908
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,193	—	—	—	1,193	△1,193	—
計	339,097	1,487	380,710	221,908	15,900	959,102	△1,193	957,908
セグメント利益又は 損失(△)	△12,324	2,914	11,304	8,044	900	10,838	228	11,067

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。